

ろう教育科学会 第64回大会 新型コロナウイルス感染症に関する対応

ろう教育科学会 会長 廣瀬 宜礼  
第64回大会実行委員長 中瀬 浩一

【現地開催の可否の判断】

- ①新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、7月15日（金）の時点で現地開催が可能かどうかを学会役員で判断します。
- ②7月15日（金）時点で現地開催が可能であると判断した場合でも、その後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては現地開催の中止を検討する場合もあります。
- ③現地開催を中止する場合は、大会参加者へのメール送信、学会ホームページへの掲載、学会メールマガジンの配信で連絡をします。なお、大会案内の通り、現地開催をする場合は特に連絡はしません。
- ④大会開催の判断の方法については次項「第64回大会開催方法に関するフローチャート」をご参照ください。

【現地開催中止の場合】

- ⑤現地開催中止の場合は、後日、オンライン（オンデマンド方式）開催として大会を行います。
- ⑥大会がオンライン（オンデマンド方式）開催となった場合でも参加費の返金はしませんので、ご了承ください。
- ⑦大会がオンライン（オンデマンド方式）開催になった場合、登壇者（講師、シンポジスト、研究発表者）の発表内容（事前録画したもの）をオンデマンド配信する予定です。質疑応答はできませんことをご了承ください。
- ⑧大会がオンライン（オンデマンド方式）開催となった場合、総会もオンライン形式で行います。学会ホームページに総会ページを設置します。総会資料の確認、質問受付、採決を総会ページ内で行います。

【現地開催で登壇者が現地に来られない場合】

- ⑨大会が現地開催となった場合でも、登壇者（講師、シンポジスト、研究発表者）の都合により、登壇者が現地に来られない場合が想定されます。その場合は、現地に来られない登壇者の発表と質疑応答を大会会場への生配信に切り替える可能性があります。ご了承ください。

## 《第64回大会開催方法に関するフローチャート》

